

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 6 月 16 日(2023.6.16)

【公開番号】特開 2023-80307(P2023-80307A)

【公開日】令和 5 年 6 月 8 日(2023.6.8)

【年通号数】公開公報(特許)2023-106

【出願番号】特願 2023-66382(P2023-66382)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 6 月 8 日(2023.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による操作を受ける操作受け部と、

操作機会が付与される受付許容状態を発生可能であり、該受付許容状態において操作受付されると表示変化を生じさせる操作受付手段と、

前記受付許容状態において、操作機会が付与される対象である操作受け部を摸した摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と

を備え、

30

前記摸画像表示として、特別態様を含む複数態様が用意されており、

前記受付許容状態では、時間経過に応じて表示面積が減少する残り時間示唆描写が現れうるようになっており、

前記受付許容状態には、

特定 B G M が非抑制態様で出力されているなかで発生するとともに、操作受付がなされて当該受付許容状態に対応する第 1 表示変化が生じた以降も特定 B G M の可聴出力が継続される第 1 受付許容状態、

前記特定 B G M が抑制態様で出力されているか、または非出力の状態にされているなかで発生するとともに、該操作受付がなされると当該受付許容状態に対応する第 2 表示変化を生じさせる第 2 受付許容状態、及び

40

前記特定 B G M が抑制態様で出力されているか、または非出力の状態にされているなかで発生するとともに、該操作受付がなされると当該受付許容状態に対応する第 3 表示変化を生じさせる第 3 受付許容状態

が含まれており、

前記摸画像表示としての前記特別態様は、前記第 1 受付許容状態、前記第 2 受付許容状態、及び前記第 3 受付許容状態のうち前記第 2 受付許容状態が発生する場合にのみ現れうるが、該第 2 受付許容状態が発生する場合には、前記摸画像表示として前記特別態様とは異なる態様が現れる場合もあるようになっており、

前記残り時間示唆描写は、前記第 1 受付許容状態、前記第 2 受付許容状態、及び前記第 3 受付許容状態のうち、前記第 1 受付許容状態が発生する場合と前記第 2 受付許容状態が

50

発生する場合とでは現れるが、前記第3受付許容状態が発生する場合には現れないようになっており、

さらに、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンのいずれかを選択し、該選択した変動パターンで図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と

を備え、

前記第3受付許容状態は、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数未満の状況にあるときに特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、該図柄変動が実行開始されてから特定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が前記所定数以上の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始された場合は、該図柄変動が実行開始されてから前記特定時間が経過しても発生しないようになっており、

さらに、

前記第3受付許容状態は、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が前記所定数未満の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、該図柄変動が実行開始されてから前記特定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が前記所定数未満の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始された場合であっても、該図柄変動が実行開始されてから前記特定時間が経過するよりも前に前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が増加したときには該図柄変動が実行開始されてから前記特定時間が経過しても発生しない

ことを特徴とする遊技機。

【**手続補正2**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0007

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【0007】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による操作を受ける操作受け部と、

操作機会が付与される受付許容状態を発生可能であり、該受付許容状態において操作受付されると表示変化を生じさせる操作受付手段と、

前記受付許容状態において、操作機会が付与される対象である操作受け部を摸した摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と

を備え、

前記摸画像表示として、特別態様を含む複数態様が用意されており、

前記受付許容状態では、時間経過に応じて表示面積が減少する残り時間示唆描写が現れうるようになっており、

前記受付許容状態には、

特定BGMが非抑制態様で出力されているなかで発生するとともに、操作受付がなされて当該受付許容状態に対応する第1表示変化が生じた以降も特定BGMの可聴出力が継続される第1受付許容状態、

前記特定BGMが抑制態様で出力されているか、または非出力の状態にされているなかで発生するとともに、該操作受付がなされると当該受付許容状態に対応する第2表示変化を生じさせる第2受付許容状態、及び

前記特定BGMが抑制態様で出力されているか、または非出力の状態にされているなかで発生するとともに、該操作受付がなされると当該受付許容状態に対応する第3表示変化を生じさせる第3受付許容状態

10

20

30

40

50

が含まれており、

前記摸画像表示としての前記特別態様は、前記第 1 受付許容状態、前記第 2 受付許容状態、及び前記第 3 受付許容状態のうち前記第 2 受付許容状態が発生する場合にのみ現れるが、該第 2 受付許容状態が発生する場合には、前記摸画像表示として前記特別態様とは異なる態様が現れる場合もあるようになっており、

前記残り時間示唆描写は、前記第 1 受付許容状態、前記第 2 受付許容状態、及び前記第 3 受付許容状態のうち、前記第 1 受付許容状態が発生する場合と前記第 2 受付許容状態が発生する場合とは現れるが、前記第 3 受付許容状態が発生する場合には現れないようになっており、

さらに、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンのいずれかを選択し、該選択した変動パターンで図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と

を備え、

前記第 3 受付許容状態は、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数未満の状況にあるときに特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、該図柄変動が実行開始されてから特定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が前記所定数以上の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始された場合は、該図柄変動が実行開始されてから前記特定時間が経過しても発生しないようになっており、

さらに、

前記第 3 受付許容状態は、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が前記所定数未満の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、該図柄変動が実行開始されてから前記特定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が前記所定数未満の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始された場合であっても、該図柄変動が実行開始されてから前記特定時間が経過するよりも前に前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が増加したときには該図柄変動が実行開始されてから前記特定時間が経過しても発生しない

ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50